

快適な室温

雪に閉ざされた北海道の新年。コロナ、インフルエンザ、その他ウイルスがまだまだ流行中。室内はそれらが生存しにくい湿度の50~60%、温度は20度から23度に保つのが良いでしょう。真っ白な雪に閉ざされていると植物に興味がありません人でも室内に緑が欲しくなるものです。観葉植物ならば人間の快適空間で充分共存できます。日当たり環境は種類によって違うので購入した時にきちんと植物のことを調べて置き場を決めましょう。(きのした)

今月の便り

リュウノヒゲ

干支の辰年にちなんでリュウノヒゲという植物をご紹介します。古くから日本に自生している常緑性多年草です。非常に育てやすく日陰や半日陰でも育つことからグランドカバーやシェードガーデンによく利用されます。タマリユはリュウノヒゲのなかでも草丈が低く成長しても5cm~15cmほどです。この草丈の低さを活かして、グランドカバーや花壇の縁取りに利用されます。ハクリユウは葉に白い斑模様が入るのが大きな特徴で洋風の庭にもよくあいます。他品種と比べると葉焼けしやすいという弱点があるので真夏の直射日光は避けましょう。コクリユウはオオバジャノヒゲという種類の改良品種で、黒味が強い葉色が大きな特徴です。草丈が高く20cmほどまで成長します。花色は白、または淡い紫色です。色彩館でも黒竹の下に植えています。リュウノヒゲ、聞き覚えがありませんか？木の実を笹の葉で包んでリュウノヒゲで縛ったお土産。今年はドングリが豊作になるといいですね。(いとう)

新年明けましておめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。2024年は甲辰（きのえたつ）草木の成長を表わし植物が成長するように勢いがます年の意味もあり、昨年まで努力されて来たことが身を結び成就する年と言われています。さて、本年のガーデニング Life の始まりですね。北海道は3月末までの期間お花と触れ合うのは室内の鉢花になり、管理に悩まれる方も相談コーナーでの質問も多くなります。人気のシクラメン、シャコバサボテン、ポインセチア、観葉植物などは、上手な株選びから始まり植物の適温、湿度などを知ることによって冬の基本管理が出来ると思います。美しい株で購入した植物を日当たりの良い窓辺のレースのカーテン越しなど適切な置き場所見つけて下さい。植物は最低温度と最高温度の差が15度以上にならないようにしましょう。(たかはし)

室内に咲く冬の花

雪に反射した陽の光がベランダから差し込む厳寒の冬期。外は白銀の世界だが家の中は常夏のように暖かい北国の冬。夏はベランダから庭先の花が和ませてくれていたが、今は雪 雪で殺風景です。そこで夏の間半日陰の屋外で育てていたシャコバサボテンを室内に入れ、今は真っ赤な花が零れ落ちるかのように満開で和ませてくれています。ネットで「冬の花」人気ランキングを見ると一番は「クリスマスローズ」私の好きな「シャコバサボテン」は四番目でした。冬場のために夏から秋にかけて丹精込めて育て白銀の世界が見える窓際に赤や黄色などいろいろな色の花を咲かせ楽しんではいでしょうか。(ながやす)



【室内公園「色彩館」からのお願い】 当館では植物の引き取りを一切行っておりません。あらかじめご了承くださいませ。処分してしまうのが心痛いのであれば、そうならないように樹形や樹高、特性などを考え計画的かつ責任を持って購入・栽培してください。育て方で分からないことは、当館の緑の相談コーナーへお気軽にお問い合わせください。

緑の相談コーナー Q & A

Q シャコバサボテンの花が咲かないのはなぜですか(・・・)?

シャコバサボテンは春の「剪定」と秋の「葉摘み」が必要です。剪定はシャコバサボテン造形の作りでバランスよく葉が伸びているなら必要はありませんが、シャコバサボテンはアサガオ、ポインセチアなどと同様に短日植物です。光に当たる時間が短くならないと、花芽をつけないという性質があります。シャコバサボテンが花芽を付けるためには、気温が10～20℃で、一日の日照時間が12時間以内の状態を1か月続けることが必要です。蛍光灯などの光でも反応するので、一日中室内に置いておく場合でも、日当たりや照明の当たり具合に注意しましょう。「葉摘み」とは、シャコバサボテンの花は成熟した葉っぱの先にしか咲かないので、小さい新芽や茎節はすべて摘み取ってしまい成長を止めて花芽をつける準備をさせるためにすることです。カラッとした天気の良い日に摘み取ると摘み取った切り口がすぐ乾きます。この葉摘みは指先でちぎってください。

葉摘み、日照時間の管理をしないと花は咲きません。

チョット
いっぷく



ひとつき ひとバラ



文： 曾 根 浩 太
(いわみざわ公園バラ園)



第百九回

原種

ロサ ニティダ

Rosa nitida

原産国：北アメリカ

ハーディネスゾーン：Z2

一季咲き

今年はや暖冬と噂され、来春の雪解けも昨年以上に早いという風に聞きます。数か月後のことなので今想像もつかないですが、毎度雪の予報だけは正確になってほしいと願っています。さて今回は、原種の中でも特に紅葉が美しいロサ ニティダをご紹介します。花はピンクの一重咲きで The 原種といったような雰囲気のお花です。特徴的なのは枝葉で、枝は繊毛に覆われており、葉は光沢があり細長い形をしています。楚々としたお花に特徴的な枝葉を持つバラになります。高さは高くなっても1m程度、当園では50cm程度で数株が茂みのようになっています。学名のニティダは「光沢がある」ということを意味しており、その名の通りつやつやした綺麗な照葉です。別名の「シャイニングローズ」も葉の光沢が綺麗なところからつけられた名前ですね。ニティダの素敵なおところはこの葉にあり、秋に紅葉した際は赤や黄色に色づきます。ニティダほど見事な紅葉は、他の紅葉する原種でも見ることが出来ないと思うくらい綺麗です。紅葉とともに見ることのできるヒップは小ぶりの真ん丸な赤いヒップで、合わせてみるとほんとに可愛らしく思えま

す。開花期の夏よりも秋に真価を発揮するバラと言っていいでしょう。お手入れもとても簡単です。病気や虫等はほとんど気にする必要ありません。また Z2 なので耐寒性も抜群。また枝が柔らかいので雪囲いの必要も一切ありません。雪の下にしてしまえば次の年しっかり枝も残って花を咲かせてくれます。剪定も全くしなくて大丈夫です。枯れた枝のみ取り去るようにしましょう。当園ではイングリッシュローズガーデンの入り口手前に植栽しています。ほんとに何も手を加えなくても毎年咲き、実をつけ、紅葉で楽しませてくれます。秋の原産地に行って思いっきり紅葉を楽しんでみたいですね。夕焼けに照らされるニティダの紅葉、考えただけでもグッときます。バラだから花を楽しまなければならない。消毒して病気や虫と闘わなければならない。雪国だから囲いをしなければならない。そんな固定概念を取っ払ってくれるこんなバラもお庭で愛でていただきたいなと思います。

PIZZERIA Lucci

3月まで土・日・祝のみの営業

営業時間 11:30~15:00 (L.O 14:30)
2024年の営業は1月6日(土)からになります
ご来店お待ちしております



今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



- 1月14日(日) 10:00~12:00 折り紙でバラをつくろう 初級
料金:無料 定員:15名 講師:バラ園スタッフ
持ち物:おりがみ 筆記用具

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話:0126-25-6111 ホームページ:<https://iwamizawa-park.com/>

※資料ご用意の都合上、なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。

連絡なしの欠席・遅刻はお申し込みをしたい方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。

※材料費のかかる講座は、講師の準備等の都合上、開催日3~4日位前までに
お申し込みをお願いいたします。

※換気の為、扉・窓等を開放いたします。悪天の際は暖かい格好でお越しく下さい。